

報道関係者各位

2026 年 9 月 4 日

社会医療法人恵佑会

法人本部 地域連携広報戦略室

【北海道初】BCG 非応答の膀胱がんに対する新規遺伝子治療薬

「エドスチラドリン」の投与を恵佑会札幌病院にて開始

～2026 年 7 月保険適用の新薬を 9 月 15 日(火)に道内第 1 例目の投与実施～

社会医療法人恵佑会 恵佑会札幌病院（所在地：北海道札幌市白石区本通 9 丁目南 1 番 1 号、理事長：高橋 宏明）は、2026 年 9 月 15 日（火）、筋層非浸潤性膀胱がん（BCG 非応答）の患者様に対し、今年 7 月に保険適用となった遺伝子治療用製品「エドスチラドリン」の投与を実施いたします。

なお、本薬剤を用いた治療は北海道内で第 1 例目（初）となります。

■ 本件の背景と社会的意義

膀胱がんの治療において、標準治療である BCG（カルメット・ゲラン菌）注入療法で効果が得られない（BCG 非応答）患者様に対しては、これまで「膀胱全摘除術」が標準的な根治治療とされており、生活の質（QOL）への影響が課題となっていました。

2026 年 5 月に承認、7 月に保険収載された新薬「エドスチラドリン」は、BCG 非応答の膀胱がんに対する日本初の遺伝子治療薬です。本治療の導入により、「膀胱を温存する」という新たな治療法を患者様へ提示することが可能となります。

■ 治療実施概要

初回投与予定日 : 2026 年 9 月 15 日（火）
実施施設 : 恵佑会札幌病院（札幌市白石区本通 9 丁目南 1 番 1 号）
担当医師 : 泌尿器科 部長 久末 伸一（ひさすえ しんいち）
対象疾患 : BCG 非応答の上皮内癌（CIS）を有する高リスク筋層非浸潤性膀胱がん
対象薬剤 : エドスチラドリン®（エドスチラドリン膀胱内注入液）
（一般名：ナドファラゲン フィラデノベク／遺伝子治療用製品）

<本件に関するお問い合わせ先・取材のお申し込み>

社会医療法人恵佑会 法人本部 地域連携広報戦略室 担当：長井（ナガイ）・田子（タゴ）

電話：011-863-2101（代表） E-mail：pr@keiyukaisapporo.or.jp